盛岡第四高等学校　学校報

シルバーリーフの風

Ｎｏ．６
令和３年７月２１日発行
岩手県立盛岡第四高等学校
担当　副校長　川﨑　広幸
ホームページにも掲載しています

鷹羽柊弥選手　200M で栄冠　　陸上部５種目でインターハイへ

6 月 19 日（土）～22 日（火）、北上市陸上競技場で開催された令和３年度東北高校陸上選手権大会において、下記の種目でインターハイへの出場権を獲得しました。特に、鷹羽柊弥さんは、男子 200 メートルで東北チャンピオンとなりました。インターハイでの活躍を期待しています。

男　子				女　子			
種目	順位	記録	氏名	種目	順位	記録	氏名
100m	2	10 秒 52	鷹羽　柊弥	200m	5	25”36	筑後なごみ
200m	1	21 秒 54	鷹羽　柊弥	100mH	4	14”77	田中　馨子
4×400mR	3	41 秒 88	新坂　恒輝 鷹羽　柊弥 葛西　俊仁 似内　陸斗				

鷹羽柊弥さん　東北大会では、予選から全力を出さなければならないため、体力面で不安がありましたが、アップを始める時間、内容を変えて対応することができました。この良い結果は、自分の努力もありますが、いつもは敵だけど、同じ岩手県代表として応援してくれた他校の選手、身体のケアをしてくれた先生やトレーナーの皆さん、そして普段から練習している四高の選手の協力があってのことだと思います。インターハイでは、順位も大切ですが、自己ベストを出し、岩手県高校記録を破りたいと思います。

田中馨子さん　100mH ではインターハイを決めることができて嬉しかった反面、400m リレーは、あと１歩のところで届かず、悔しい思いをしました。インターハイに向けて今まで以上に練習に励み、リレーメンバーの分まで頑張りたいと思います。

筑後なごみさん　「絶対にインターハイに出場する」そう思って臨んだ大会でした。２日目に行われた 400m リレーでは 0.06 秒足りずに入賞を逃し、100m 準決勝では 0.03 秒足りず決勝進出を逃してしまい、悔しい思いをしましたが、先生方や仲間が声をかけてくれ、翌日から行われる 200m へ気持ちを切り替えることができました。インターハイでは惜しくも切符を逃してしまったメンバーのためにも、そしていつも支え続けてくださるたくさんの方々への恩を結果で返していけるよう、精一杯頑張ってきます。

激励費・祝い金贈呈式　7 月 20 日（火）インターハイに出場する、陸上競技部男・女、テニス部男・女、全国高等学校総合文化祭に参加・出品する、文芸部、書道部、美術部、バトントワリング部に、教育後援会・同窓会・盛岡市役所志高会から、激励費・お祝い金が贈呈されました。本来なら、全校の前で同窓会長様や教育後援会長様から贈呈していただくところですが、新型コロナのため、校長より贈呈されました。各部の代表から、全国の舞台に向けての力強い抱負が述べられました。

1, 2年総合的な探究の時間講演会開催

６月 30 日（水)、北上市の北良株式会社代表取締役笠井健氏をお招きして、講演会を開催しました。演題は「日本の防災と地域を変えるイノベーション～岩手の企業・人材がひらく未来」。笠井さんは、ガスや酸素ボンベ等を製造する会社を経営し、医療用の酸素を必要とする方々への災害時の支援等を行ってきました。東日本大震災だけでなく、熊本をはじめ、日本各地で支援活動を行っています。講演のなかで、「夢を持つ必要はない。誰か一人でも助けたいと思うことが大切」「一人を助けるために力を尽くすことが、結局ユニバーサルに役立つことになる」等々、心に響く言葉がありました。笠井さんは、多忙なため高校での講演は引き受けていないとのことですが、今回は特別に来校していただきました。１，２年生徒は素晴らしい態度で講演を聴いていました。

１年３組　志田純香さん

２つのことが心に残りました。１つ目は、「大事なのは何を知っているかより、誰を知っているか」ということです。今まで私は、知識より勝るものはないと思っていたのですが、人との繋がりによって様々なことを成し遂げられたお話しが興味深かったです。２つ目は、「社会に出たら、フライングもカンニングも OK だ」ということです。笠井さんの会社では、他の会社の良いところを取り入れ続けていると聞き、よりよい社会をつくるため新しいことに挑み続ける挑戦者の姿勢がとてもすごいと思いました。

１年３組　佐藤琴梨さん

今やるべきこと、大切にしなければいけないことを教えてくださり、ありがとうございました。震災後、酸素ボンベを必要としている方にボンベを配達するなど、困っている人への支援をすばやく行う判断力と実行力が素晴らしいと思いました。私も、必要なことを考え実行する力をつけるため、身のまわりのことに目を向け、変化を感じ、多くに人と関わり人間関係を豊かにしていきたいです。震災から 10 年経った今、「終わった」と考えずに「新しい災害へのカウントダウンが始まった」と考えることが必要だと改めて感じました。

２年１組　伊藤璃音さん

私は日頃、疑問に思って生活したりせず、納得してしまうことが多いので、笠井さんのように、日常生活にいろんな疑問をもっていきたいです。東日本大震災やコロナウイルス拡大を通して、様々な取組を考えるだけでなく、いろんな人と協力しながら実行に移す、実行力の高さが素晴らしいと思いました。講演では、おもしろい話題や分かりやすく動画を使ってまとめていただき、充実した良い時間を過ごすことができました。

自転車事故、半減！

７月 15 日時点で、今年度の自転車事故は５件。昨年の同時期は、11 件でした。また、幸い大きな事故も起こっていません。夏休みに入りますが、交通マナーを守り、交通事故に気を付けて生活しましょう。

コロナ対策の夏を！

夏休みが始まります。３年生は学習、１，２年生は部活動等に忙しいことと思いますが、コロナ対策を忘れずに過ごしましょう。夜間や休日等の緊急連絡は、019-636-0742 の留守番電話にお願いいたします。

充実した夏休みを過ごしてください。休み明け、８月 17 日（火)、元気に会いましょう。